

## 7 小児患者が必要に応じた療育を受けることができる体制整備

- 病気や障がいのある小児が必要に応じた療育が受けられるよう、関係機関との連携調整などの支援体制を整備します。県では長野県難聴児支援センターなどを通じて、療育を支援していきます。

## 8 小児患者が退院後の生活を踏まえた、在宅移行支援や在宅療養支援を受けることができる体制整備

- 医療的ケア児等の望ましい療養、療育環境への移行を図るための検討・協議を行い、安心して在宅療養が継続できるよう、医療、保健、福祉及び教育の連携による在宅医療体制を整備します。

## 9 有事（災害時、新興感染症の発生・まん延時）を見据えた小児医療体制整備

- 災害時に医療サポートが必要となる医療的ケア児や妊産婦等に対する災害医療体制の構築を図るため、災害時小児周産期リエゾンの養成を推進します。
- 県防災訓練への災害時小児周産期リエゾンの参加及び平時からの災害時小児周産期リエゾン連携会議開催や情報共有により、有事を見据えた小児に対する災害医療体制を検討します。
- 新興感染症の発生・まん延時の有事を見据えた小児医療の災害支援体制を検討します。

## 第4 数値目標

### 1 目指す姿

区分	指標	現状 (2023)	目標 (2029)	目標数値 の考え方	備考 (出典等)
0	乳児死亡率 (出生千対)	1.6 (2022)	1.6 以下	現状以下を目指す	厚生労働省「人口動態統計」
0	小児死亡数	39 人 (2022)	39 人以下	現状以下を目指す	厚生労働省「人口動態統計」
0	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	96.5% (2021)	増加	現状より増加	すこやか親子 21 (第二次)

### 2 予防・相談

区分	指標	現状 (2023)	目標 (2029)	目標数値 の考え方	備考 (出典等)
0	不慮の事故による死亡率 (10 万人対)	0.43 (2022)	0.43 以下	現状以下を目指す	厚生労働省「人口動態統計」
S	小児の事故防止について普及啓発している自治体の割合	100% (2021)	100%	現状を維持	母子保健事業の実施状況調査

区分	指標	現状 (2023)	目標 (2029)	目標数値 の考え方	備考 (出典等)
P	#8000相談件数	10,634件 (2022)	13,000件以上	現在の水準以上を目指す	保健・疾病対策課調
P	幼児健診受診率	1歳6か月児 97% 3歳児 96.4% (2021)	1歳6か月児 97%以上 3歳児 97%以上	現在の水準以上を目指す	地域保健・健康増進事業報告

### 3 小児医療体制

区分	指標	現状 (2023)	目標 (2029)	目標数値 の考え方	備考 (出典等)
P	小児かかりつけ医を持つ人の割合	3,4か月児 74.5% 3歳児 85.7% (2021)	3,4か月児 74.5%以上 3歳児 85.7%以上	現在の水準以上を目指す	すこやか親子21 (第二次)

### 4 小児救急体制

区分	指標	現状 (2023)	目標 (2029)	目標数値 の考え方	備考 (出典等)
P	小児救急搬送の内、 受入困難事例の件数	17件 (2021)	10件	直近2か年の 平均値以下に 減少	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査（医療機関に受入の照会を行った回数が4回以上の件数）
S	休日夜間急病センター等の小児初期救急医療体制を整備している医療圏数	10圏域 (2022)	10圏域	現在の水準を維持する	保健・疾病対策課調

### 5 療養・療育支援

区分	指標	現状 (2023)	目標 (2029)	目標数値 の考え方	備考 (出典等)
P	長野県難聴児支援センター 相談件数	1,930件 (2022)	1,930件以上	現在の水準以上を目指す	保健・疾病対策課調
P	退院支援を受けたNICU,GCU入院児数	180人 (2021)	180人以上	現在の水準以上を目指す	厚生労働省 NDB オープンデータ
S	在宅小児の緊急入院を受け入れている医療機関数	20か所 (2023)	増加	現状より増加	医療政策課調査

## 6 有事の小児医療

区分	指標	現状 (2023)	目標 (2029)	目標数値 の考え方	備考 (出典等)
P	災害時小児周産期リエゾンの県防災訓練参加回数	1回(2022)	年1回以上	年1回以上の参加	保健・疾病対策課調
P	災害時小児周産期リエゾン連絡会議開催回数	0回(2022)	年1回以上	年1回以上の開催	保健・疾病対策課調
S	災害時小児周産期リエゾン任命者数(再掲)	19人(2022.4時点累計)	36人	現状の増加数(年約2.8人)を維持	保健・疾病対策課調
S	災害時小児周産期リエゾンの配置二次医療圏数	5医療圏(2022)	10医療圏	全医療圏に配置	保健・疾病対策課調

注) 「区分」欄 S(ストラクチャー指標): 医療サービスを提供する物的・人的資源及び組織体制等を測る指標  
P(プロセス指標): 実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標  
O(アウトカム指標): 医療サービスの結果として住民の健康状態や患者の状態を測る指標